<u>ম</u>	7成	22	年度	事務	事業	評価シート	(平成 21	年度実施	事業)	整理	番号	水総03		
車	務事第		公営企業	信 答理 3	車業			会計	水道事業					
								予 第	資本的支					
総合	まちづ		1 安全	· · 安心、	快滴~	で住みやすい	まち	科	建設改良	· ·				
坐 _	り目標				/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		5. J	目目	企業債償					
[計]	拖策(食		11 上下		- 24 11:4	t v		事業	企業債償	還金				
	施策の		(3) 水道		-			作成部署 水	道局総務訓	果				
_		_		水道事	業財政例	建全化計画								
Alle			何を)		de la tata			連絡先 07	72 - 958 - 1	111	内線	5011		
の L)発行、償			理								
			いう状態に			W		A						
						資金を適正に運								
事						入金のバラン 悪とかれげ								
業		援の発行の要否を見極め、必要となれば、極力抑制した金額での起債計画書の作成〜借入申請を行う。 後は、企業債管理システムに登録し、償還管理を行う。												
			ま、任業債官性シベアムに登録し、債歴官性を行う。 還等、企業債残高縮減のための有利な制度が条件に合致すれば、積極的に制度を活用する。											
容														
根	拠法令	等	地方自治	法、地	方財政治	去、地方公営	企業法 他							
古出	노 티티 뉴스	n± #0	✓ 昭和	2 年	== +/~ [明確にはネ	つからない		終	了年度	F成	年度		
	美開始		□ 平成	2 午	開始 [] 市制施行	(昭和34年) 以	前より行って	いる					
	開始時		平成18年月	変から借 。	入手続き	きが、許可制か	ら協議制に移	行された。						
	況変化 や議会													
望	で硪云	の安												
3	毞施手	法	✓ 直営		□ 一 =	部委託 📗	全部委託		助成金	□ その他	,()		
	委託党	Т	市外郭	郭団体委託	E 名称	()	委託内容						
	女ロしノ	L												
			民間:	委託		□ その他		女儿门台						
		区	」 民間:				21年度	22年度		活動	か単位 当力	こりコスト		
重業	考【1		□ 民間	分	(千円)		(実績)	22年度 (見込み)	90	活動	助単位当力	こりコスト		
	費【1 費【2]	民間:		(千円)	20 年度 (実績) 175,412	(実績) 178,092	22年度 (見込み) 181,481	80	活動	助単位当力	こりコスト		
	費【2]	□ 民間:		(千円)	20年度 (実績) 175,412 4,875	(実績) 178, 092 4, 875	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750	80	活動	助単位当力	こりコスト		
人件	費【2]				20年度 (実績) 175,412 4,875 0.65 人	(実績) 178,092 4,875 0.65 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人	80 70 60 50	活動	助単位当力	こりコスト		
人件	費【2 正規 再日	】 】 見職員				20年度 (実績) 175,412 4,875 0.65 人	(実績) 178,092 4,875 0.65 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人	80 70 60 50 40	活動	办単位当 <i>†</i>	こりコスト		
人件取貨数	費【2 正規再編 臨時	】 】 見職員 任用職 氏職員 持職員				20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人	80 70 60 50 40 30 20	活動	小 単位当力	こりコスト		
人件 耶貞数 走	費【2 正規 正用偏 臨	】 】 見職員 任用職 氏職員 持職員	一 員 考)			20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	80 70 60 50 40 30 20	活動	か単位当か	≥りコスト		
人件 耶貞数 走	費【2 財子 工 再 嘱 臨 勤 費	】 】 記職員 E用職員 時職員 務(参			(千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	80 70 60 50 40 30 20	活重	21	こりコスト		
人件 耶貞 走事	費【2 財子 工 再属 臨勤 工 工 再属 国 工 工 再属 国 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	】 】 記職員 E用職員 持職員 務(参	一 員 考)	分	(千円) (時間) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	80 70 60 50 40 30 20					
人 耶貞娄 走事 貝	費 【2 規一】	】 】 見職員 任職員員 等務(参	一 員 考)	分	(時間) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	80 70 60 50 40 30 20		21	22(目標)		
人 環境 走事 貝派区	費 【2 其	】 】 記職員 任職員員 務(人)	考) +【2】	分) [A]	(時間) (時間) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人	80 70 60 50 40 30 20			22(目標)		
人	費 は 2 業 オ原内尺 正再嘱 臨過費 国府市 そ	】 】 記職員 話職員員参 (【1】	一 員 考)	分) [A]	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 180, 287	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 182, 967	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 188, 231	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人	費 電子 おまり と	】 】 記職員 E用職員員参 (【1】 動態 動物。	考) +【2】 (手数料·f	分)【A】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 180, 287	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 182, 967	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 188, 231	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人 総 影	費 【22 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 記職員員 話職員員参 (【1】 と関連を表する。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に対している。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	考) +【2】 (手数料・f	分)【A】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 180, 287	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 182, 967 21年度	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 188, 231 22年度(目標)	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人 部 送事 貝別で言 動工	費 電子 おまり と	】 記職員員 話職員員参 (【1】 と関連を表する。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に対している。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	考) +【2】 (手数料・f	分)【A】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 180, 287	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 182, 967	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 188, 231	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人	費 【22 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 記職員員 話職員員参 (【1】 と関連を表する。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に関連している。 に対している。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	考) +【2】 (手数料・f	分)【A】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 180, 287	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 182, 967 21年度	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 188, 231 22年度(目標)	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人 総 活①② (4) 用情報 走事 貝別 [1] 動 ①	費 は 女 選業 オ原内 指案 正再嘱 臨勤費 国府市そー標賃	】 記職用職職(配財職員員参 」 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	考) +【2】 (手数料・f	分) 【A】 使用料等) 責) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 180, 287	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 182, 967 21年度	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 188, 231 22年度(目標)	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人 総 活①②③活	費 は 女 選業 オ原内 指案 正再嘱 臨勤費 国府市そー標賃	】 引職開職職 (できる) は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	考) +【2】 (手数料・f D活動実統 浸残高	分) 【A】 使用料等) 責) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 180, 287 180, 287 20年度 2, 708, 780	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 局間 182, 967 182, 967 21年度 2, 530, 689	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 188, 231 22年度(目標) 2, 349, 208	80 70 60 50 40 30 20 10 0		21	22(目標)		
人 総 活①②③活	費 は 2 業 オ原内尺 指案 正再嘱臨過費 国府市 そ 一標債 位	】 引職開職職 (できる) は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	考) +【2】 (手数料・(D活動実経 環残高	分) 【A】 使用料等) 責) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 180, 287 20年度 2, 708, 780	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 人 182, 967 182, 967 21年度 2, 530, 689	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時 188, 231 22年度(目標) 2, 349, 208	80 70 60 50 40 30 20 10 0	20	21 成果指植	22(目標)		
人	費 戦争攻 迢業 オ原内尺 指注 正再嘱臨過費 国府市そー標業 位人 押債 当当	】 】 見職職員員参 (【1】 を を は し は り り り り い れ た た た た い れ た り り り り り れ り れ り り り り り り り り り り	考) +【2】 (手数料・(D活動実 (は スト(【A) 指標名 (は な は な が は な れ に れ に れ れ に れ れ に れ れ に れ れ れ れ れ れ	分) 【A】 使用料等) 責) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 局間 180, 287 20年度 2, 708, 780 67 円 1, 507 円	(実績) 178, 092 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 182, 967 21年度 2, 530, 689 72 円 1, 539 円	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時 188, 231 22年度(目標) 2, 349, 208 80 円 1, 583 円	80 70 60 50 40 30 20 10 100 80 60 40 20 0	20	21 成果指植	22(目標) 第① 22(目標) 平成22年度		
人	費 戦争攻 超業 オ原内尺 指業 位人 工再嘱臨勤費 国府市そー標賃 当当	】 】 見職職員員参 (【1】 を を は し は り り り り い れ た た た た い れ た り り り り り れ り れ り り り り り り り り り り	考) +【2】 (手数料・f D活動実統 選及 スト(【A] はない割合	分) 【A】 使用料等) 責) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) 単位 千円	20年度 (実績) 175, 412 4, 875 0. 65 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 局間 180, 287 20年度 2, 708, 780 67 円 1, 507 円	(実績) 178,092 4,875 0.65 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 182,967 182,967 21年度 2,530,689 72 円 1,539 円	22年度 (見込み) 181, 481 6, 750 0. 90 人 0. 00 人 0. 00 人 0. 00 時間 188, 231 22年度(目標) 2, 349, 208	80 70 60 50 40 30 20 10 0	20 平成21年度 118 達用	21 成果指机	22(目標)		

	<u> </u>		指標名	単位	指標設定の考え方		平成20年度	平成214	丰度	平成22年度
成	事業目的	1	給水収益に対する企業 債残高の割合	%	料金収入に対する企業債残高の割合。割合が低		122	118	達成率(%)	104
5	人産業	U	(式) (企業債残高÷給水場 ×100		いほど経営状況が良い。		123	116	98. 3%	
指標	日票の	(2)	給水収益に対する企業 債償還金の割合 (式) (企業債償還金÷給7	%	企業債償還金の料金収入 に対する割合。企業債の償	目標	8	7	達成率(%)	8
	指標)	指標)	(式) (企業債償還金÷給力 益) ×100	水収	還能力を示し、低いほど企 業債への依存度が小さい。	実績	8	8	114. 3%	

	市		市の関与が必要な理由									評価				
	の関与の必要		1 2 3 4 5 6					7	8		9	必要性	分析・評価の説明			
			法令上 の義務	受益者 が不特 定多数	最低限 の生活 水準を 確保	市民の 不安を 解消	経済的	民間だ けでは 負担しき れない	民間がける 供給 足	‡ f	トの特 色等を ト内外 ヽ発信	にも受 益があ	法に基づき、適債事業について起債が認められている。また、公債費を適正に管理し、健全ながない。			
	要 性		\circ											運営に努めることが求め られている。		
		点		分	析のため	のチェッ	ク点		はい	いいえ	該当なし		分析•	評価の説明		
			市民ニーズが高い											記債対象事業は、建設改		
			市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない											のため、自ずと財源確保		
			社会情勢の変化に対応している								☑ ⁽	よ水担事:	業体の責剤	労となる。		
	妥当	当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない								V					
			国・府の事業と重複していない								V					
			事業を休」	止、廃止した	:場合の影	響度が大き	きしい		V							
			緊急性が	認められる							V					
			単位コスト	が適切では	ある(経年、	他市比較な	ぼど)							・府により手続き等が定		
			受益者負	担の割合は	は適当である	3						められて ハ。	おり、巾狐	虫自で簡素化等はできな		
1			人員を削減	咸する余地	がない				✓				理事務は、	すでにシステムを導入		
分析	, 一効率	率性	事業費を	削減する余	地がない				V			している。	o .			
•			簡略化できる方法や手段がない													
割			市の他事業と重複していない						V							
佃				(民間委託. 余地がない		ランティア、	PFIなど)の	活用につい	, 🗆		V					
			上位の施	策(目的)か	「明確である	3			V		ш,			原を必要とする事業につ		
	有交	边性		策(目的)へ		が高い事業	である							テにより、必要な資金を 骨な執行が確保できると		
		ν) I <u>Τ</u>	成果を向。	上させる余り	地がない					V				負担を平準化することが		
			市民の視点にたってサービスが提供されている									できる。				
			7 7/4-7	画、立案に					$\perp \square$			企業債管理事務は、財政管理事務であり、 市民との協働はなじまない。				
	協個	動性	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている							<u>Ц</u>	M	1112(20)	MM (考り) (み () & '& V °		
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している							부						
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている 成果指標の目標値は適正である							<u> </u>		业知之答	アルトア	給水収益が落ち込んだ		
	法									<u> </u>				おか収益が落ら込んだ 発行を抑制しているた		
	连凡	~~	成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している							+				載少目標は達成できた。		
H				は削牛皮の	の同工して	va					Ш					
		総合	·評価													
	+0	== /=	-	充実 ☑	現状維	持	方法改善	見	営化・	民間	委託	□ 縮力	`□ 序	隆止·休止 □ 完了		
	714		の理由	Alle A					1			<i>i</i> 1.	1 22/2-1-2014			
	部													D安定経営のために、 宿減を図り、公債費を適		
	局							ェッ、皿に努めて			^ ⊅11 4111	川こ小貝	丞7及[申] ♥ノ州	旧灰で囚り、五貝貝で週		
	評価	今後	に向けて	(取組方質	針、具体的	りな改善さ	女革案な と	<u>-``)</u>								
	.—		後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 上償還等、企業債残高の縮減のための有利な制度							牛に	合致。	ナれば、 ^え	債極的に制	削度を活用する。		
				の繰上償	遺還制度	の対象第	条件の緩	和等、市	ī長会	(都	市整例	前部会・ カ	水道部長会	⋛議)を通して要望して		
- -		いる wx 太	る。													
	貨	高色	67 3III							67 00	地地	忌 凤				
	本		拡大 ヂ	実	□ 選粉	維持「	力法法	書								
	本部		【孤关·龙裳 □ 現状維持 □ 方法改善													
	評価		民営化・表質委託 🔲 縮水 👚 廃止・休止 🔲					完了								
	tim.															